

# AGILE ENGINEERING COLLABORATION

## おもな機能と利点

### おもな機能

- 製品レコードに統合された設計
- ネイティブ設計アプリケーションからのアクセス
- 機械 CAD および電気 CAD のサポート
- ソフトウェアおよびファームウェアのサポート
- 共同の作業領域
- リアルタイムおよびオフラインの設計レビュー

### おもな利点

- 知的財産権の効率的な管理
- 設計情報の正確性の向上
- エンタープライズ全体のコラボレーションの実現
- 収益をもたらすまでの時間の短縮
- エンジニアリングの効率性の向上
- 直接材料費の削減
- 改革の推進
- 設計の整合性の維持

"手作業で 1,200 以上の入力が必要だったプロセスを 2 分のドラッグ・アンド・ドロップ操作に改善することができました。これは、コストの削減、市場に出すまでの時間、大量生産、調達および製造を含むすべての下流プロセスに大きな影響を与えます。"

-Credence Systems社、  
エンジニアリング・マネージャ、  
William Palleschi氏

オラクルの *Agile Engineering Collaboration* は、製品設計とエンタープライズ製品レコードを関連付けます。設計チームは、新しい製品設計情報を提供し、製品を市場に出すまでのあらゆる側面でエンタープライズ内のチームおよびパートナーと連携できます。このソリューションは、設計の改革を促進して設計の整合性を適用します。企業は、エンジニアリングから製造に迅速かつ効果的に製品を移行できます。

## エンジニアリング・コラボレーションの課題

多くの企業は、設計情報を管理して主要な利害関係者と設計情報を共有することに困難を感じています。エンジニアリング・チームと設計チームの分散、製造のアウトソーシング、およびサプライ・チェーン・ネットワークの多層化によって、この問題が深刻化しています。部門のエンジニアリング情報を格納するワークグループ・データ管理システムを使用している企業もあります。ただし、通常、設計情報は、一元管理されたエンタープライズ製品レコードに統合されるのではなく、複数のシステムと多くの個別のユーザーに分散しています。

タイムリーで正確な設計情報を保有していないので、このような組織は重大な課題に直面します。設計の再利用は時間がかかります。また、部品の増加が一般的です。このような企業は、知的財産権を制御、管理、および共有するセキュアな方法を準備していません。これは、毎年数百万ドルの利益損失につながります。

*Agile Engineering Collaboration* は、概念段階から全体のライフ・サイクルにいたるまでの製品開発をサポートする幅広い機能を使用して、分散した組織のエンジニアリング・プロセスを改善および効率化します。

## 設計の統合

*Agile Engineering Collaboration* の設計の統合機能は、オラクルの *Agile Product Lifecycle Management* プラットフォームを設計者のデスクトップまで拡張します。エンジニアおよび設計者は、エンタープライズ設計格納庫の製品設計にアクセスして活用できます。エンジニアは、機械 CAD および電気 CAD の検索、チェックアウト、変更、およびバージョンング、設計ソフトウェアおよびファームウェアへのアクセス、技術資料の参照をすべてネイティブ設計アプリケーションから直接パラメータで実行できます。*Agile Product Lifecycle Management* にエンタープライズ製品レコードを格納すると、ソースに関係なく製品データの混在した単一ビューが実現します。設計の統合機能を使用すると、運用、エンジニアリング、および構成の管理を効率的に組み合わせて、仕掛品の設計情報および製品の変更と更新を管理できます。また、製品リリースのプロセスを効率化して、市場投入までの時間を短縮します。

## 関連製品

### AGILE PRODUCT LIFECYCLE MANAGEMENT

Agile Product Lifecycle Managementによって、企業は、製品ライフ・サイクル全体で収益の増加、コストの削減、品質の向上、コンプライアンスの確保、および改革の推進を実現できます。広範なベスト・プラクティスのエンタープライズ・クラスの製品ライフ・サイクル管理ソリューションを使用して、製品を最大限に活用できます。

#### 関連製品

- Agile Product Portfolio Management
- AutoVue Electro-Mechanical Professional for Agile
- Agile Product Collaboration
  - Agile Product Governance and Compliance
  - Agile Product Cost Management
  - Agile Product Quality Management

## 設計協同

Agile Engineering Collaboration の設計協同機能によって、購買、マーケティング、運用、サプライヤ、および他のエンジニアと設計を共有して、設計リリース前に重要なフィードバックを取得するためにエンジニア用の共同の作業領域が作成されます。この機能によって、特権アクセスを付与されたユーザーは設計レビューをいつでも開始できます。また、後から製品レコード履歴で参照できるセッション結果が取得されます。フィードバックを同時に提供する複数の参加者ととも設計レビューとサプライヤ・レビューをリアルタイムで実行できます。またはオフラインで任意の参加者ととも実行できます。設計協同機能は、エンジニアが開発する設計プロトタイプの数をも最小限に抑えて、設計どおりに確実に製品を製造します。

このソリューションは、Agile Product Lifecycle Management とオラクルの AutoVue Electro-Mechanical Professional を統合します。これによって、ユーザーは、数百のファイル形式の参照およびマークアップ、電気・機械のデジタル・モックアップ・セッションの作成、正確な測定による設計レビューの高速化、追加、削除、または変更する部品を決定する設計の代替案の比較、内部構造に注目するための 3D モデルの分割、プリント回路基板のレイアウト・ファイルと関連する回路図の調査によるネットとコンポーネントの検索、およびプリント回路基板の設計の整合性を検証した製造可能性のテストなどを実行できます。

## 設計公開

エンジニアリング設計は、設計公開機能によって部品表に体系的に変換されます。設計構造からエンタープライズ製品レコードのリンクは、部品表、仕様、図面、モデル、および承認された製造業者リストを含む製品のすべての最新定義で保守されます。設計チームは、新しい製品設計情報を提供し、製品を市場に出すまでのあらゆる側面でエンタープライズ内のチームおよびパートナーと連携できます。

設計公開機能によって、製品レコードの変更は、オラクルの Agile Product Lifecycle Management から CAD ツールまで同期されます。これによって、図面の表題欄を常に最新にできます。設計内容と製造内容が一致するように、すべての進行中の設計変更が製品レコードと同期されます。

## お問合せ先

オラクルの Agile Engineering Collaboration の機能の利用方法についての詳細は、[oracle.com](http://oracle.com) を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問合せください。

Copyright © 2007, Oracle Corporation and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

